

新ごみ焼却施設平成33年稼働へ 中学生に胃がん予防、ピロリ菌除菌事業

市議会 派
代表者 議

7日、市議会会派代表者会議が開かれ、「ごみ焼却施設整備・運営事業」等について説明を受けました。

稼働開始予定は平成33年4月。

処理方式は全連続式運転焼却式（ストーカ一式）。

事業の方式は公設民営のPFI的DBO方式。

新たに建設を行うごみ焼却施設について廃棄物対策課の説明によると、事業名を「鶴岡市ごみ焼却施設整備・運営事業」とし、場所を宝田三丁目13-6。

事業期間は20年間（焼却施設は30年間を前提とし、維持・運営管理は20年契約とするもの）。

施設規模は80トン／日×2炉。処理対象物は①生活系ごみ②事業系ごみ③リサイクルプラザ可燃残渣④し渣⑤し尿汚泥。

入札方法は総合評価一般競争入札とし、同事業の中で行われる発電の売電収入は鶴岡市に帰属するとしていきます。

当初予算の交付金要望額1240万円に比較して大幅な減額となった背景について、担当者は29年度に支払いを延期したり、半年の事業実施に短縮した結果と説明しました。

果と説明しています。中学2年生にピロリ菌除菌事業

は、健康福祉部健康課から来年度から中学2年生を対象に胃がん予防対策としてピロリ菌の除菌事業を行うと説明がありました。

大統領就任50日のトランプ政権を
アメリカ経済研究第一人者が縦横に語る！

萩原伸次郎 横浜国立大学名誉教授
元横浜国立大学経済学部長



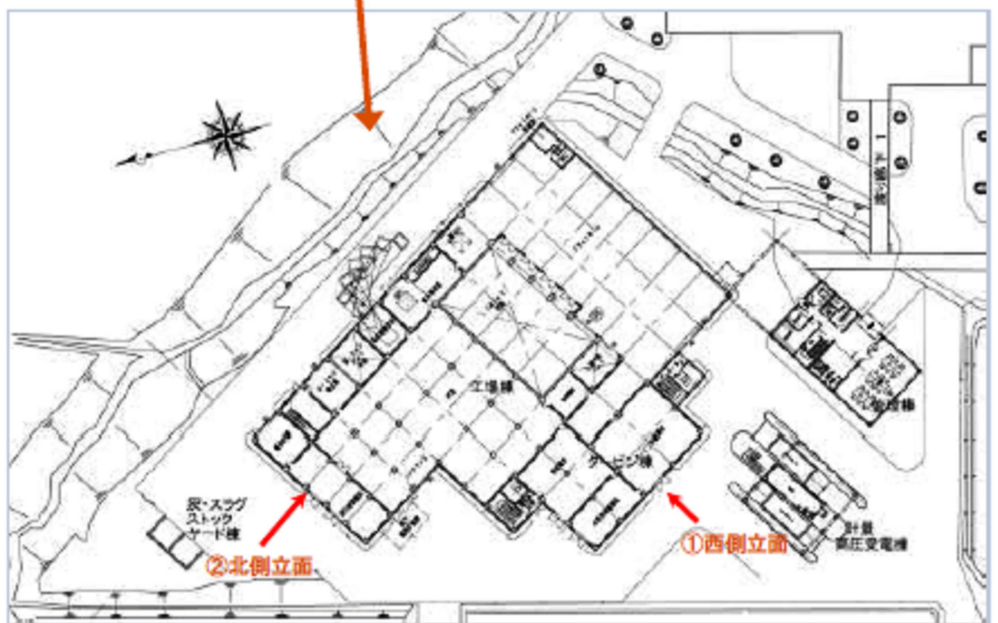
「トランプ政権で どうなる日本」

3月12日(日)14時～16時
鶴岡市勤労者会館
整理券 500円

国会で2回陳述！
主催／鶴岡・田川革新懇 後援／酒田・飽海革新懇
問合せ／笹山一夫☎090-4040-6139、梅木威☎080-2807-5852



建設予定地の位置



新焼却施設配置計画 (案)

説明では、家族の同意を前提として実施し、全生徒の5%を陽性と想定しています。山形県は、75歳未満の胃がん死亡率が全国で最も高く(2014年)、その克服を目指しています。また、来年度から実施する歯科口腔保健行動計画(案)の説明がありました。加藤太一市議は、歯科衛生士の常勤職員配置が重要と意見を述べました。

田中あきら氏再選果たす

命とくらしを守る町政へ全力

三川町議選



当選の知らせを受け万歳する田中あきら氏(前列中央)と支持者(6日夜、三川町押切新田の選挙事務所)

6日投票された三川町議選(定数10)で、日本共産党公認の田中あきら氏が、1人はみ出しの激戦を制し2回目の当選を果たしました。

田中あきら氏のコメント
皆さんの大きなご支援で再び議会に送っていただくことができました。この結果をしっかりと受け止めて公約実現に頑張ります。吹雪の中、私の演説

を聞いていた女性には「高齢者を大事にしてほしい」と訴えました。

また、子どもを持つお母さんからは、「学校給食をぜひ無料にしてください」と言われました。

安倍政権の暴走、戦争する国づくりを許さず、命とくらしを守る町政へ全力で頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

建築課入札結果 () 内は予定価格

2月2日入札分
・市羽黒庁舎第二期外構整備・旧庁舎棟解体工事(債務負担行為)(入札17業者うち1業者辞退)
(株)佐藤組 100,000,000円(100,500,000円) 工期~7/31(落札率99.5%)

羽黒庁舎入札結果 () 内は予定価格

2月2日入札分
・平成28年災33-8東増川山農地災害復旧工事(繰越明許)(羽黒町川代字東増川山地内)
中止

三川町議選投票結果

定数10 投票率 70.86%

田中あきら	318	9位
前回	459	3位
16年参院比例	334	
佐久間千佳(新)	588	1位
小林茂吉(現)	488	2位
芳賀修一(元)	474	3位
鈴木重行(新)	461	4位
佐藤栄市(現)	400	5位
成田光雄(現)	394	6位
志田徳久(現)	389	7位
梅津博(現)	326	8位
町野昌弘(現)	316	10位
佐藤正治(現)	253	11位

一人の命をみんなの命として

恐縮ですが、重い話題です。日本の自殺死亡率は、仏独の2倍、英の3倍など、主要国でも際だった高さとなっています。

平成17年に自殺対策大綱が策定され、一定の成果が上がりましたが、未だ一年間の自殺死亡者数が2万人を超える異常な状況です。

中でも山形県は、自殺死亡率が全国で6番目に高い県(平成27年度)となっていることから、2日(木)の厚生環境常任委員会で対策の強化を3点取り上げました。

①総合的で継続的な取り組みが求められており、これまでの単年

度の計画ではなく、中長期的な計画を策定する。②民間団体への支援を強める。更に、③医療、介護、教育、労働等の相談活動を強化する事など、一人ひとりの命を大切にす地域づくりを進める。

地域福祉推進課長は、①来年度、中長期的計画の策定を進めたい。②「命の電話」や、鶴岡市の「NPOほらんたす」の事業なども引き続き支援する、③相談機関のネットワークを強めていく。と答弁。

根本的対策は、安倍政権を倒し、命を大切にす政治に向けて進んでいくことです。(真議 関徹)

庄内医療生協労組が旗開き・新春のつどい開催

庄内医療生協労働組合(海藤敏執行委員長)の「2017年旗びらき・新春のつどい」が3日開催されました。組合員とその家族などが参加し、一年の活動をスタートさせる決意の場となりました。

日本共産党鶴岡地区委員会を代表して関徹

市議も参加し、紹介されました。



日本共産党を代表してあいさつする関徹県議員